

JFM だより

vol. **35**
SEPTEMBER 2020

[佐賀県基山町]

基山町立図書館

人と人をつなぐ、「町のリビング」



INDEX

- 01 融資がつむぐまちづくり
- 05 がんばる公営競技
- 07 JFM TOPICS
- 11 利用してみよう! 地方支援業務
- 15 みんなのギモンにファイナンス博士が回答!
みんな気になる、お金のこと
- 17 わたしのシゴト わたしのジモト
- 19 私たちもJFM債買っています!
- 19 編集後記
- 19 機構からのお知らせ





人と人をつなぐ、「町のリビング」

佐賀県基山町

基山町立図書館

歴史ある^{きいじょう}基肄城を背に、豊かな自然に囲まれた佐賀県基山町。
「あたたかさ」と「あたらしさ」を兼ね備えた建築デザインで、
この町のランドマークとなっているのが、基山町立図書館です。
本との出会いだけでなく、人々が出会い、つながることができる
「町のリビング」として地域の方々に愛されています。



1



2 3



4



5 6



7



8

基山町立図書館 概要

所在地:佐賀県三養基郡基山町大字宮浦60-1
 開館:平成28年4月
 建築面積:約1,150㎡
 (車椅子駐車場・庇:約50㎡含む)
 蔵書規模:開架冊数 6万冊、閉架冊数 5万冊

基山町立図書館って？

「町の声」に込め続ける図書館

基山町における図書館の歴史は古く、昭和34年に最初の図書館が開館しました。当時は公民館横に建てられた小さなものでしたが、もっと広い図書館を設立しようと、昭和57年に、民俗資料館併設の旧基山町立図書館として生まれ変わりました。さらに、平成28年には町民の声を受け、ゆっくりと読書のできる空間や学習スペースがつけられた、3代目となる現在の基山町立図書館が開館。都市公園をリノベーションした、緑あふれるパークライブラリーとして、地域の方々がゆったりくつろげる空間となっています。

誰でも楽しめるあたたかな交流の場

初代図書館から変わらないあたたかな雰囲気の中で、木の香りや緑に囲まれながら読書を楽しむことができます。館内北側にある「基山」を望むカウンター席は、Wi-Fi環境が整っているため、ネット学習や仕事をする方に大変人気のスポットです。そのほかにも、公園で遊ぶ子どもたちを見守りながら雑誌などを読めるブラウジングコーナーや、きやまラウンジと名づけられた飲食可能なエリアなどもあり、読書だけでなく、地域の方々の交流の場としても活用されています。

- 1 図書館外観。木のぬくもりを感じられる開放的なデザインです。
- 2 読書の丘。図書館の東側に広がるこのエリアでは、青空の下で読書を楽しむことができます。
- 3 きやまラウンジ。地域の方々の作品を見ながら、飲食や会話が楽しめるスペースです。
- 4 郷土資料コーナー。基山町の歴史が学べる展示エリアです。
- 5 おはなしの部屋。子どもたちへの読み聞かせを行うおはなし会などで使用されています。
- 6 児童書コーナー。子ども専用の読書スペースを設けています。
- 7 図書館と公園の空間を使って、子どもから大人まで楽しめるさまざまなイベントを行っています。
- 8

さまざまな出会いにあふれる、基山町立図書館

地域の方々の学びと交流の場として活用される基山町立図書館で、司書として30年以上勤務する、館長の城本直子さんに建設の経緯や今後の展望などを伺いました。

町民の想いを形にした町のアカデミックサロン

現在の基山町立図書館の建設は、町民の方々からの「アカデミックな図書館が欲しい」という要望を受けて決定しました。オープン1年前には、町民主体の「手をつなごう図書館の会」という団体も設立され、現在も駐車場整理や共催イベントなどを実施していただいております。そのほかにも、地域のボランティア団体の方にご協力いただき、定期的に子どもを対象としたおはなし会を開催しています。館内にはおはなしの部屋というおはなし会のためのスペースもあり、子どもたちへの読み聞かせはもちろん、親御さんの育児相談の場としても活用されており、人と本だけでなく、人と人をつなぐ町のアカデミックサロンとなっています。



基山町まちづくり課 図書館 館長
城本 直子

図書館と地域の未来を見据えた融資活用

新しい基山町立図書館の建設にあたり、有効な財源の確保に向けて頭を悩ませていたとき、JFMで地域活性化事業債が活用できることを知りました。補助金の利用なども検討していましたが、交付税措置などのメリットが決め手となり、JFMから融資を受けることに決めました。申請の手続きなどについてもわかりやすく説明していただけたので、現在まで安心して活用することができています。財政負担の平準化や住民負担の公平性などの観点からも、融資を受けることができ大変良かったと思います。また、令和元年度の地方金融状況調査で基山町にお越しいただいた際には、図書館のことだけでなく、町の現状についての意見交換や地方支援業務などの説明もしていただき、有意義な時間を過ごすことができました。これからは融資以外にも、JFMのさまざまなセミナーや研修も活用していきたいです。

今後の目標は、図書館を「人も地域も元気になる場所」にすることです。新型コロナウイルス感染症の影響を受ける今、三密を避けながら地域の方々が楽しめるイベントや講座を実施し、地域の未来を育む情報拠点になればと考えています。

■基山町立図書館の利用状況

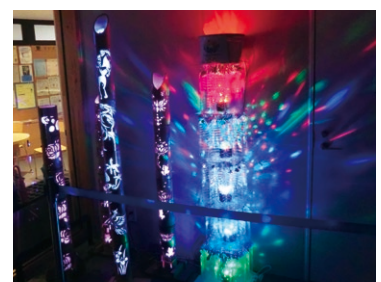
現在の図書館が建設されてから、旧図書館ではあまり見られなかった、若い子育て世代の男性の利用が特に増えました。土曜日や日曜日、祝日などのお休みの日には子どもを連れて来館される方が多く、児童書などと合わせて、お仕事関連の本を借りていただいています。また、町民の方以外に、広域連携を結んでいる鳥橋市や小郡市等の方々にもご利用いただいています。



Column

いつもと違う図書館が楽しめる「竹あかりナイト」

建設当初から図書館を支えてくださっている、地域のボランティアの皆さまとともに作り上げた夜の図書館イベントです。毎年10月に1日限定で、開館時間を18時から20時まで延長し、図書館の周りを竹灯籠で彩ります。普段あまり見ることのできない「夜の図書館」を楽しめるほか、館内で開催されるオカリナやギターなどのコンサートをはじめ、「子ども映画会」や「スペシャルおはなし会」も実施しています。子どもから大人まで楽しめる人気のイベントで、毎年たくさんの来場者の方で賑わっています。



ご当地紹介

佐賀県基山町

福岡県筑紫野市と小郡市に隣接し、「佐賀県の東の玄関口」と呼ばれる基山町。北には町のシンボルである「基山」を主峰とする筑紫の山々や、町花であるつつじや紅葉の名所などもあり、四季折々の自然に触れられる町です。



基山町の町章



佐賀県基山町

- 人口:17,393人
 - 世帯数:7,037世帯
 - 面積:22.15km²
- (令和2年7月末現在)

私の
地元自慢

自然も暮らしも楽しめる、 文武両道な町です！

基山町は福岡市から電車で20分という場所にありながら緑豊かな景色も楽しめる、住みやすさと自然が調和した町です。さらに、プロ野球選手や漫画家などの著名人を多く輩出している「文武両道の町」としても知られています。近年は若い世代の転入も増え、町に活気が生まれてきています。ライチ農園やエミュー農場などの体験型観光スポットもありますので、福岡県・佐賀県方面にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください！

まちづくり課 図書館係 主査 江上 真太郎



子どもたちに人気の 基山草スキー場

山全体が草原となっている基山では、基肆城跡のすぐそばで草スキーを楽しむことができます。春は3月から5月、秋は9月から11月まで利用でき、家族連れで賑わう人気スポットです。草の保護のため、木製のソリのみ使用可能となっています。



基山町ならではの合宿場

誰でも気軽に利用できる基山町合宿所は、町おすすめの施設です。最大48名まで宿泊でき、スポーツ合宿はもちろん、旅行などでの個人利用も大歓迎。1階にある食堂「ホットステーション」では、基山町名物のエミュー料理も堪能できます。



国の特別史跡 基肆城跡

天智4年(665年)、大宰府を中心とした北九州の防衛拠点の1つとして、福岡県の大野城とともに築かれた日本最古の本格的な山城です。歴史的・学術的価値が国に認められ、昭和12年に国史跡、昭和29年には佐賀県初となる国の特別史跡に指定されました。



本件で活用いただいた制度

地域活性化事業

地域の経済循環の創造に資する事業、活力ある社会経済を維持するための拠点である連携中枢都市圏構想の推進に資する事業等を対象としています。具体的には、地域の観光資源を活用した施設や、医療福祉施設の整備等の事業に対して、貸付けを行います。

JFMスタッフ Message



融資部融資課
佐賀県担当

中村 真太郎

地域活性化事業は、観光等の地域資源を活用した施設の整備や、地域衛星通信ネットワーク施設の整備といった、地域の基盤整備に欠かせない事業を対象としています。令和元年度においては、全国の地方公共団体に対し、総額約102億円の貸付けを実施しました。

今後も私自身がより一層の努力を重ねるとともに、地方公共団体の皆さまからのご意見・ご要望を踏まえて、借入事務の利便性向上に努めてまいります。借入事務にあたり、ご不明な点などありましたら、お気軽に融資部各県域担当までご相談ください。